

学志舎

岐阜市で25年の塾経営経験を活かし、
お子さまのレベルに合わせたカリキュラムを組み立て、
徹底した自律学習指導を行っています。

卒塾生の思い出

表面の彼のコメントに書いてあるように、6月の懇談会のことを今でも鮮明に覚えています。

お母さんが「体育祭の応援のリーダーをやりたいと言うのですが…

そうするとお盆ごろからは毎日練習に出なければいけないので、今の成績を考えると

賛成できないのですが、先生はどう思われますか？」間髪入れずに横から事務長が

「お母さん、純兵君にやりたいようにさせてあげましょう。私は、やらずに後になってやりたかったと悶々とするより、

思う存分やらせてあげて、やり切った感をもってその後勉強に向かえばいいんじゃないかと思います。

彼ならきっとやりますよ。私は純兵君を信じています。」そして「この後は私が責任を持ちます。」

「あ～、言いきったぞ！」と私は思いました。

お母さんは少考後ふっ切れたように「わかりました。私もあの子を信じます。先生、今後私はどうすればいいんでしょう？」

事務長はニコッと笑って「何も言わずに美味しいご飯を作ってあげてください。そして受験まで笑顔で見守ってあげてください。」

2月20日お母さんと彼が合格の報告に来てくれました。お母さんは満面の笑顔で「事務長先生に言われたように、

この子には『勉強しなさい』と言わないようにしました。そして美味しいご飯を食べさせることだけに専念しました。」

3年後のことです。お兄ちゃんの後を追って、弟君も岐大の医学部に合格。弟君と報告に来てくれたお母さん、笑いながら

「この子の時は本当に楽でした。事務長先生に言われたように、何も言わずに美味しいご飯を作るのに専念しましたから。」

私も事務長も思わず大笑いしたことがつい先日のように思えます。

話は戻りますが、彼は大学時代学志舎で後進の指導に当たってくれました。

生徒にとっては本当に頼もしい兄貴であり優秀なコーチでした。余談ですがコーチ時代の土曜の夜遅く、

玉宮町から塾時代の仲間と電話をかけてきて「飲み足りないのこれから行っていいですか？」それから3時、酔いつぶれるまで。

以降幾度となく飲みましたね。昨年12月も、卒塾生の飲み会に私たちを誘ってくれました。

オンオフの切り替えがしっかりした彼です、患者さんにしっかりと寄り添える、よい医者であることでしょう。

今後も仕事にプライベートに輝いて、人生を走っていくことだろうと思います。

塾長 山田 勝登

彼から「体育祭の応援のリーダーをやりたいけど、母親に反対されている」と言われたのが彼の部活が終わった5月の半ばでした。医学部に入るにはまだまだ大きな壁が立ちだかっている状況でした。

お母さんの立場からすれば、もっともなことです。受験に大切な8月に、後半はほぼ毎日朝から夕方まで練習に行くのですから。

彼との話の中で、彼の決心が固いということがよくわかりました。

私も彼に「やることさえやれば、やってもいいんじゃない」と言いました。その夜仕事が終わって、塾長にその話をしました。塾長は「何か（ハードル・困難）があるからできないは当たり前。うちの生徒たちには、何かがあってもそれを表に出さず、涼しい顔をして乗り越えて実行できる人間になってほしい」と常々言っていましたので、きっと賛成すると思っていました。

開口一番「俺反対するな～今の成績だったら。お母さんが反対するのはもっともだよな。」「本気で？」塾長は笑いながら「いや、反対して純兵の覚悟の程を聞いてみたいね。で、どうだったのよ？」「覚悟がなかったら、あの子は私に言わないわよ！」「じゃあいいんじゃない。」

そしてその後の懇談会で、お母さんに納得してもらって夏休みを迎えました。

学校で応援の練習をしている時間以外はずっと塾にこもって、

自分の計画を粛々とこなす彼の姿に、賛成してよかったと思いました。

11月、第3日曜日は学志舎恒例のイベント「木曾三川公園リレーマラソン」がありました。

これは1チーム10人で42.195kmをタスキリレーするものです。学志舎からはコーチと

生徒2チームが参加しました。この時期に受験生が朝から夕方まで、こんな大会に出て

走っているなんて学志舎だけだろうと思います。しかし、午後4時頃塾に帰ると10時頃まで

皆勉強をします。このイベントに彼もちろん参加しました。そしてその翌日のことでした、塾長は

前日のマラソンの写真をプリントアウトした後、私に「純兵は合格するな」と言いました。「???」です。

実は大会後に皆で集合写真を撮るのですが、最後は「変顔!」といって皆が変なポーズ、変な顔をして思いっきり砕けた写真を撮るのです。その時の彼の写真を見てそう確信したそうです。

何の根拠もありません。単なる勘です(笑)しかし、塾長の勘は結構当たるんですよ。

その時の写真がこれです。一番砕けていたのが彼だったんですね。

やることを全力でやっている充足感からでしょうか…。

その後センター試験も無事に90%以上を取り、推薦で早々と合格を勝ち取りました。



タスキを受け取る
山下コーチ



事務長 山田 公子

自律学習の徹底

「言われたことはきちんとこなすが、自分で考えて行動を起こすことが出来ない子が多い」

と言われる昨今、学志舎は「学力」=「学ぶ力」すなわち

「自分で考えて、学習できる力」と位置づけ、徹底した自律学習指導を行うことにより、

自分で考えて行動できる子どもを数多く育てています。



勉強の習慣付け

小学部

中学・高校の6年間で花開く
「基礎学力」を徹底して作るコース



朝6時オールナイト学習会終了

中学部

高校受験のための教科力と
自律の養成を徹底して行うコース



合格おめでとう!

高校部

本格的な大学受験のための
学力形成を徹底して行うコース

国語力最優先指導

21年前、学志舎は岐阜市で初めて小学生「読書コース」を創設し、

国語力の強化に力を入れてきました。なぜなら、

すべての教科の基本は「国語」だと考えているからです。

そして、学志舎は、国語力が受験においても大きな武器となることを、

その結果で証明してきたのです。

褒める教育の徹底

褒め上手な親の子は伸びる子が多い、もしくは学力が高い生徒が多いというのは、
25年の経験の中で間違いありません。

学志舎は19年前に岐阜県では初めてコーチングを導入し、お子さまの存在を認め、
良いところを褒めることを徹底して行うことで、お子さまを大きく伸ばしています。

詳細はHPを御覧ください



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索

〒500-8085 岐阜市白木町92番地

【お問い合わせ】平日10:00～21:00

☎ 058-265-4562

【感染症対策実施中】